

## はじめに

足立区は東京都内でありながら、草原の広がる荒川の河川敷や緑豊かな都市公園といった昆虫が生息する環境が数多く残っている。しかしそれらに目を向ける機会は少なく、昆虫にさわったことがないという子どもが多い。

そこで、昆虫への興味を引き出すことを目的に、「むしむしガール むしボーイ」と題し展示を行った。展示は昆虫の「捕まえ方」「育て方」「観察の仕方」の 3 つの要素で構成し、展示内容に関連したプログラムも行った。なお、「むしガール」や「むしボーイ」は、虫採り少年少女を意味する造語である。

## 展示概要

### 捕まえ方

捕まえ方の展示では、雑木林、草原などそれぞれの環境別に採集方法を解説パネルを使って紹介した。また、実物の採集セットや環境を再現した展示を設置することで、「捕まえる」ことを擬似体験できるよう工夫した。

例えばライトトラップを紹介した展示では、白い布にスポットライトを当て、昆虫のクラフトを設置し、現場を再現した（図 1）。



図 1 ライトトラップ展示の様子

### 育て方

育て方の展示では、見かける機会の多い昆虫 15 種の飼育方法を解説パネルと生体展示で紹介した。解説パネルでは飼育セットの作り方や飼育における工夫などを紹介した。生体展示では、専門的な器具や道具ではなく、入手しやすい市販の飼育セットを使用し、観覧者が家庭での飼育をよりイメージしやすいよう工夫した。また、飼育担当者が開園時間中に飼育作業を行うことで、飼育方法に関する質問に対して、実物を使って解説することができた。

### 観察の仕方

観察の仕方の展示は、観察展示室やチョウの温室など昆虫の行動が直接観察できる展示エリアで行った。また、育て方の展示にも飼育昆虫の観察ポイントを紹介する解説パネルを設置した。チョウの温室内では常時 15 種 600 頭程のチョウが飛んでおり、そこにチョウの絵を貼りつけたステッキを設置した（図 2）。羽ばたいているチョウにこのステッキを使うことで、他のチョウがどのような反応を見せるのかを観察できるようにした。



図 2 チョウのステッキ

## ワークシート

園内をめぐるワークシートを作成し配布を行った。ワークシートは年齢別に幼児～小学2年生用、小学3年生～中学生用、高校生～大人用の3種類に分け、どの年齢層でも楽しめる工夫をした(図3)。

また、ワークシートの内容を確認する、「むしガールむしボーイ認定試験」を実施し、試験合格者にはオリジナル缶バッジをプレゼントすることで、参加者の関心を引き出す効果を持たせた(図4)。

**むしガール・ボーイ認定試験 練習問題**  
小学3年生～中学生用

このページの左にはここにあり、右にはここにあり  
虫の目 虫の足 虫の口 虫の鼻  
虫の目 虫の足 虫の口 虫の鼻

名前 \_\_\_\_\_

① ライトトラップで使う布の色は?      ② アリのエサは?  
黒色      白色      砂糖水      塩水

③ ナミアゲハの幼虫の足は何本?      ④ タイコウチの得意ワザは?  
16      18      鳴く      死んだふり

⑤ このトラップの名前は?      ⑥ このタガメは何をしている所か?  
      

⑦ 外国の虫は外に逃がしてはいけません。なぜ? 理由を1つ書け。  
\_\_\_\_\_

**うらへつづく**



図3 ワークシート

図4 オリジナル缶バッジ

## 参加型の展示

来園者が参加できる展示として、足立区にいる昆虫や昔見られた昆虫についての情報を集める展示、生物園のある元淵江公園で、セミの抜け殻を集めて同定し、種ごとの箱に入れる展示を行った。公園内でよく見られるセミの抜け殻は4種類あり、箱の近くにそれらの検索表を配置することで同定しやすくした(図5)。

## プログラム

展示に関連づけて昆虫がどのようにしてエサを食べているのかを観察してもらおう「昆虫のエサやりプログラム」や国内外のさまざまなカブトムシ、クワガタムシを触って形態の違いを観察してもらおう「カブトムシ、クワガタムシにさわろう」を行った(図6)。カブトムシやクワガタムシは人気の昆虫であるが、種名を知っていても触るのは初めてという子どもが多かった。少し怖がりながら触っている子どももいたが、ヘラクレスの角に毛があることに驚き、興味を持っている様子が見られた。



図5 セミの抜け殻展示の様子



図6 カブトムシ、クワガタムシにさわろう

## 来園者の反応

展示期間中の解説内容を分析したところ、昆虫に関わる内容が 89%であり、期間外の 55%に比べて高い割合となった（図 7）。このことから、展示期間中は昆虫の魅力を伝える機会をより増やすことができたと考えられる。

来園者からは、ピーティングやライトトラップの方法、身近でどのような昆虫が採集できるかといった昆虫の捕まえ方に関する質問があった。またバッタやカブトムシ、クワガタムシの飼い方など育て方に関する質問もあり、解説パネルなどの展示から昆虫の採集や飼育に興味を持ってもらった。

アンケートを行ったところ、「カブトムシ、クワガタムシにさわろう」や「むしガールむしボーイ認定試験」といったプログラムが人気だという結果が得られた。また、「間近で虫を見られて楽しかった」「タガメの動きが面白い」「セミの羽化を見たい」という感想もあり、展示以外でもワークシートやプログラムを通して昆虫への興味を深められたと考える。

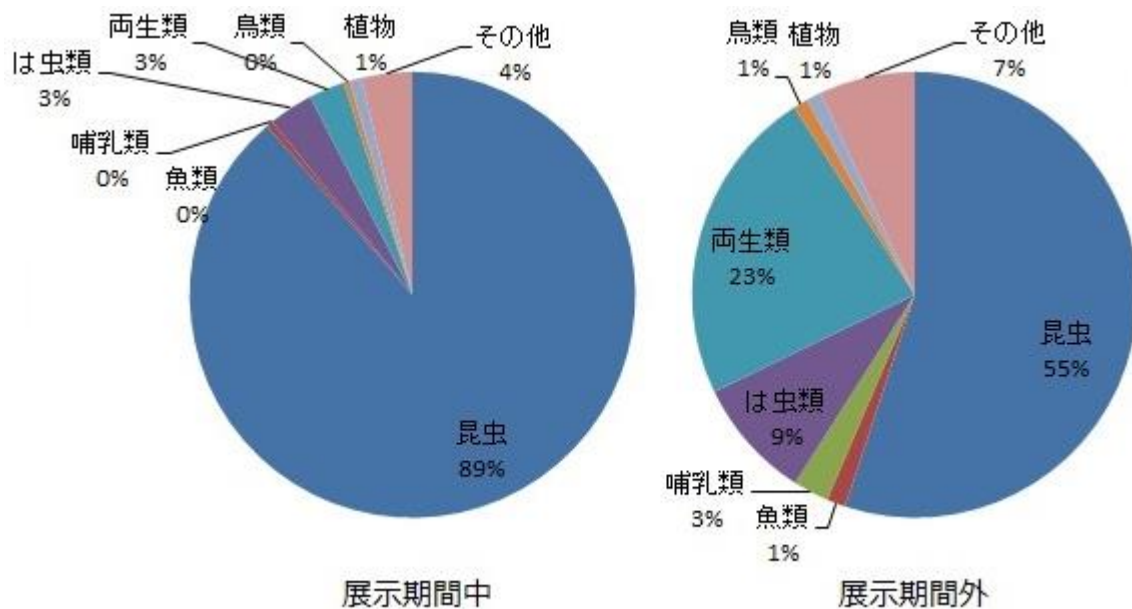


図 7 展示期間中、期間外の解説内容